若者Box

新しい仲間と

池田　七彩　12歳
（中学生　加西市）

私は、今年中学1年生になりました。正直、中学校生活がどんな感じなのかを全く知らなかったので不安でした。4月。新型コロナウイルスの影響で規模縮小となった入学式。しばらくの間、休校でした。

6月半ば。学校が始まりました。中学校生活を送ってみると、小学校とは違いすぎて、しんどかったです。そして勉強も難しい。実践部などの仕事ですることも増え、忙しい。私は、正直「自由な時間ってないの!?」と思っていました。でも私は、その忙しさを、クラスの仲間と協力することによって少しずつ改善できたと思います。

今までは、他校出身の子たちと会話をするきっかけがなかったけれど、協力を通して新しい仲間との関わりがたくさんできました。こんなことをきっかけに仲良くなった子も、今では、気軽に話ができる友達です。

中学生は、とても大変です。でもその分新しい仲間との関わりは、楽しいです。

若者Box

おじいちゃんみたいに

市川　瑞姫　13歳
（中学生　加西市）

私には、来年で88歳になるおじいちゃんがいます。とても元気で毎朝4時に起きて即畑仕事などをするぐらいです。おじいちゃんはとても面白く、最近は「ドローン」のことを「ブルーン」と言っていました。そんなおじいちゃんが大好きです。

尊敬するところがたくさんあります。どんな時にでも笑顔でいるところです。おじいちゃんは、4年前に目の手術を受けています。私自身すごく心配したのを覚えています。普通に考えて、自分の目をいじられるってすごく怖いです。でもおじいちゃんは「大丈夫。心配せんでもええ」と笑顔で言っていました。私が悲しんで泣いていたりする時も、優しく笑いかけてくれます。一瞬で不安をかき消してくれるおじいちゃんは私の強い味方です。

明るくて元気なおじいちゃんは、私の憧れでもあるし、大切な存在です。私もおじいちゃんみたいに優しいけれど強く温かい人になりたいです。

若者Box

部活で身につけた粘りで

阿木　智都　15歳
（中学生　加西市）

私の3年間の部活動は、今思うと最高の思い出になったと思います。コロナの影響で次々と大会がなくなり、自分たちの力を試せなかったのはとても悔しいけど、最後の大会では3年生6人全員でコートに立ってプレーしたことは一生の思い出です。

私はバレー部に入っていました。顧問の先生は技術はもちろん、人としてのあり方もたくさん教えてくださいました。私は怒られることが多く、「なんでバレー部になんか入ったんやろ」って思う時期もありました。そんな時仲間がいたからこそ乗り越えることができました。泣きながらケンカをすることも多かったけど、それを通してどんどん仲が深まりました。うまくいかなかったり怒られたりと、感情がとても乱れた3年間だったけど成長したと思います。

部活動が終わり、次は受験モードに入らなければいけません。悩むこともあるだろうけど、部活動で身につけた粘り強さで乗り越えようと思います。